

日本科学者会議 第20回総合学術研究集会（福岡） 3rd Circular

テーマ：「持続可能な社会を目指してー地域・現場・市民からー」

日時：2014年 9月12日（金）～14日（日）

会場：西南学院大学（中央キャンパス 1, 2号館）

主催：日本科学者会議 第20回総合学術研究集会実行委員会

後援：福岡市、福岡市教育委員会、西日本新聞社、RKB毎日放送、九州朝日放送、TVQ九州放送

「持続可能な社会を目指してー地域・現場・市民からー」というテーマを掲げた20総学は2ヵ月後に開催されます。2nd circularでも述べましたように、私たちの周りには、持続可能な社会を阻害するさまざまな要因が存在しています。原発再稼働問題、集团的自衛権の解釈改憲、グローバル企業のためのさまざまな経済施策、それによる貧困の増大、経済格差の拡大、さらには、異常気象を伴う地球温暖化問題があります。高等教育や学術研究体制においては、学校教育法と国立大学法人法の一部改正により理事長・学長の権限が拡大され、大学・研究機関の自治や学問研究の自由が奪われようとしています。

20総学がこれらの問題に立ち向かって、持続可能な社会を創造していくための契機となればと願っています。20総学では、30の分科会において158の講演が企画されています。詳細についてはpp.4～13の分科会プログラムをご覧ください。これらとは別に、12日（金）午後2時より馬奈木昭雄氏（弁護士）の基調報告と吉岡斉氏（九大教授）の特別講演が、13日（土）午後1時30分より沢田昭二氏（名大名誉教授）の特別講演が行われます。12日（金）夕方18:00からは女性研究者交流会および基調講演と特別講演に関連した市民との交流会が、また、13日（土）12:00～13:30にはポスターセッションが予定されています。

先の通常国会において学校教育法および国立大学法人法の一部が「改正」されたなかで、あるべき大学像を明確にすることが益々必要となってきています。14日（日）午後には「『改正』学校教育法体制にどう立ち向かうかー目指すべき大学像と教育・研究ー」というテーマで特別集会を開くことといたしました。詳細についてはp.4をご覧ください。

14日（日）午後には、山本作兵衛の作品を見学するツアーが、翌15日（敬老の日）には、有明海・諫早湾干拓および玄海原発・呼子港を見学するツアーが企画されています。後者の2つのツアーには、それぞれ、竹崎ガニ（有明海のワタリガニ）および剣先イカの生き造りの昼食が楽しめます（p.14参照）。

13日（土）夕方には懇親会が予定されています。私たちを取り巻く困難な状態を打開し乗り越えていくためには、真剣な取り組みとともに、ときには心に余裕をもつことが必要です。20総学の懇親会において各支部の地元にある「銘酒」を持ちより歓談することが、その一助となることは間違いありません。47支部からたくさんの会員が参加され、47種の「銘酒」とともに懇親会に集まり、21世紀の持続可能な社会の展望を語り合えることを期待しています。開催期間に全国規模の他の集会在重なるため、参加者には早めの宿の確保を推奨します。

第20回総合学術研究集会 実行委員長
三好 永作

20 総学ホームページ： <http://jsa-20th-sogaku.net/>

20 総学メールアドレス： sogaku@jsa-fukuoka.sakura.ne.jp

1. 開催日程

日	午前	午後	夕
12(金)		14:00～14:30 開会式 14:30～16:15 基調講演 「福島と水俣、玄海を結ぶもの」 馬奈木昭雄 (久留米第一法律事務所) 16:30～18:00 特別講演Ⅰ 「脱原発社会の創造」 吉岡 齊 (九州大学・比較社会文化研究院・教授)	18:00～20:00 各分野交流会
13(土)	9:00～12:00 分科会Ⅰ	12:00～13:30 ポスターセッション 13:30～15:00 特別講演Ⅱ 「核兵器と放射線被曝で脅されない 世界への転機」 沢田昭二 (名古屋大学・名誉教授) 15:15～18:00 分科会Ⅱ	18:30～20:30 懇親会
14(日)	9:00～12:00 分科会Ⅲ	12:00～13:00 総括集会 13:00～ エクスカーションⅠ： 山本作兵衛作品見学ツアー 13:30～16:30 特別集会	
15(月)	9:00～ エクスカーションⅡ：有明海と諫早湾干拓見学ツアー 8:00～ エクスカーションⅢ：玄海原発と呼子港見学ツアー		

2. 講演会・特別集会・分科会・交流会など

基調講演

馬奈木昭雄 「福島と水俣、玄海を結ぶもの」 (12 日午後)

特別講演

吉岡 齊 「脱原発社会の創造」 (12 日午後)

沢田昭二 「核兵器と放射線被曝で脅されない世界への転機」 (13 日午後)

特別集会 (詳細は p.4) (14 日午後)

「改正」学校教育法体制にどう立ち向かうか—目指すべき大学像と教育・研究—

交流会

女性研究者 交流会 (12 日夜)

市民団体との交流会 (12 日夜)

* 他の交流会については、20 総学ホームページ上で随時ご案内します

分科会（プログラムは p.4~13、【】内は講演件数）

課題	13 日午前(9:00-12:00)	13 日午後(15:15-18:00)	14 日午前(9:00-12:00)
A 憲法・平和・思想	A-1 平和で持続可能な社会の構築(1)【6】	A-1 平和で持続可能な社会の構築(2)【5】	A-3 日本国憲法の人権国家構想—安倍政権の国家構造改革批判—【4】
		A-2 生命と医の倫理を現在に問う【6】	
		A-4 持続可能な社会の諸相【5】	
B 経済・医療・暮らし	B-1 オートメーションと人間・社会【5】		B-3 戦後日本経済の根本的な変革—その根拠と条件を考える—【4】
	B-5 食・農・医療とTPP問題【4】		B-4 新しい出生前遺伝学的検査と生命倫理【5】
C 公害・環境・エネルギー・災害問題	C-1 福島第一原発事故の解析と脱原発への道(2)【5】	C-1 福島第一原発事故の解析と脱原発への道(1)【5】	C-10 低線量被ばくを考える【4】
	C-3 瀬戸内の公害・環境問題と地域・環境保全【8】	C-2 公害・環境問題の現在【7】	C-9 有明海・諫早湾干拓事業をめぐる問題を考える【6】
	C-4 市民主導の再生可能エネルギー普及と地域発展【4】	C-5 自然エネルギーによる地域づくり—21世紀の地域社会のあり方を探る—【4】	C-6 近年の「異常気象」と気候変動—IPCC第5次報告と中長期気候目標問題—【7】
	C-7 「被災者本位の震災復興論」構築に向けての研究【4】		
	C-8 近年の災害激甚化と災害に強い街づくり【8】		
D 科学・技術・教育・社会	D-1 第4回複雑系科学シンポジウム(1)【4】	D-1 第4回複雑系科学シンポジウム(2)【5】	D-5 科学者の権利問題【5】
	D-2 女性研究者・技術者の今、そしてこれから【4】	D-3 環境とジェンダー【6】	D-7 真の科学・技術政策を求めて—学術研究体制を望ましいものへと構築するのか、悲惨な事態に追い込むのか—【4】
	D-8 科学・技術の現状批判—日本の科学・技術の健全な発展のための課題 Part 7—【5】	D-9 科学・技術サロン—日本の科学・技術の現状とロマンを語る Part 7—【5】	
		D-4 若手研究者を取り巻く環境【3】	
		D-6 高等教育・学術研究体制の惨状と解決の展望【5】	

* B-2 食と農水の政策科学は都合により中止します

ポスターセッション（12日午後～14日午前） 詳細は p.13

懇親会（13日夕方 18:30～20:30） 参加費はすぐ下参照

エクスカージョン（14日午後、15日終日） 詳細は p.14

3. 参加費

事前参加登録（予稿集代を含む、今回は会員・非会員の区別はありません）

参加費： 一般 4,000 円、院生・学生 2,000 円

懇親会費：一般 4,000 円、院生・学生 2,000 円

当日参加登録（事前登録締切日以降の申込者、予稿集代を含む）

参加費： 一般 4,500 円、院生・学生 2,000 円

懇親会費：一般 4,500 円、院生・学生 2,000 円

講演会(基調講演・特別講演 I II)通し券： 1,000 円（予稿集代別）

予稿集（販売価格）： 2,000 円

【参加申し込み】

- ・振込口座がゆうちょ銀行の振替口座に変更になりました。
- ・当日受付の混雑を避けるため、できるだけ事前申込みをお願いします。参加費割引あり。
- ・振替用紙には、氏名、連絡先、「会員、非会員」、「一般、院生・学生」、「懇親会参加（有、無）」を明記し、合計金額を下記のゆうちょ銀行口座に郵便振替で払い込んでください。

郵便振替 口座番号：01790-1-5576

加入者名：日本科学者会議福岡支部

- ・振替用紙（控）は、総学当日に会場の受付までお持ちください。

4. 特別集会のご案内

「改正」学校教育法体制にどう立ち向かうか—目指すべき大学像と教育・研究—

9月14日（日）午後 13:30～16:30

先の通常国会において学校教育法および国立大学法人法の一部が「改正」されました。その状況の中で、本集会を緊急に企画しました。本集会のコーディネートは、日本科学者会議の学術体制部をお願いします。2～3の小報告を受けて、フロアからの発言を中心とした討論集会とする予定です。学校教育法・国立大学法人法「改正」を受けて大学の激変が予想される中で、大学自治、学問の自由を守り、あるべき教育・研究を展開していくために、今何が起きているのか、大学「改革」の何が問題なのか、私たちは何をすべきであり、何ができるのか、語り合います。情勢の変化に応じた企画を準備していきます。大学の教育・研究のあり方について真剣に考えておられる皆さま多数のご参加を期待します。

5. 分科会のプログラム

【A 憲法・平和・思想】

【A-1 平和で持続可能な社会の構築（1）（2）】

コーディネータ：亀山統一，浜田盛久（平和問題研究委員会）

（1）「軍産学」の動向と私たちの平和運動（座長）亀山統一・浜田盛久

日時：9月13日（土）午前 09:00～12:00

- 1 09:00～09:30 冨塚 明：米口の核兵器の現状と近代化計画
- 2 09:30～10:00 山崎 文徳：武器輸出解禁の現段階
- 3 10:00～10:25 阿部 一雅：狙われる民間技術
- 4 10:25～10:55 浜田 盛久：我が国における軍学共同の現実：学問は平和のために
- 5 10:55～11:20 赤井 純治：大学における平和教育のますますの重要性—軍学共同他
についての現代学生意識…新潟大学の例から
- 6 11:20～11:50 戸田 清：長崎大学の教養教育「平和講座」について
- 7 11:50～12:10 総合討論

（2）平和で持続可能な社会への転換を（座長）浜田盛久・亀山統一

日時：9月13日（土）午後 15:15～18:15

- 1 15:15～15:45 木村 朗：秘密保全法制と日本のファッショ化—侵略戦争とファシ
ズムを許さないために—
- 2 15:45～16:15 亀山 統一：激変する日米「同盟」と東アジア、日本、沖縄
- 3 16:15～16:45 屋富祖建樹：沖縄の米軍基地をめぐる県民意識の到達点
- 4 16:45～17:15 冨塚 明：「戦争する国づくり」の中の佐世保基地
- 5 17:15～17:45 梶原 渉：憲法を活かした日本とアジアの平和へ
- 6 17:45～18:15 総合討論

【A-2 生命と医の倫理を現在に問う】

コーディネータ：黒須三恵（生命と医の倫理研究委員会）

日時 9月13日（土）午後 15:15～18:00

- 1 15:15～15:35 刈田啓史郎：現在の医の倫理を考える起点となる戦争医学犯罪
- 2 15:35～15:55 西山 勝夫：731部隊、陸軍軍医学校における細菌学的研究と戦中・
戦後の医学博士授与
- 3 15:55～16:15 末永 恵子：後方支援としての医療—アジア・太平洋戦争における軍
陣医学の実態—
- 4 16:15～16:35 水戸部秀利；ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針の見直し
と東北メディカル・メガバンク
- 5 16:35～16:55 宗川 吉汪：STAP 事件と東北メガバンクにみる生命研究の職業倫理
と生命倫理
- 6 16:55～17:15 黒須 三恵：ヘルシンキ宣言から研究倫理を考える
(休憩 10分)
- 7 17:25-18:00 総合討論

【A-3 日本国憲法の人権国家構想 —安倍政権の国家構造改革批判—】

コーディネータ：小畑隆資（憲法研究委員会・岡山支部）

日時：9月14日（日）午前 09:00～12:00

- 1 09:00～09:20 小畑 隆資：本分科会の課題—日本国憲法の視点から—
- 2 09:20～09:50 小畑 隆資：安倍政権の集団的自衛権論
- 3 09:50～10:30 中里見 博：安倍政権の原発政策
(休憩 10分)
- 4 10:40～11:20 中富 公一：安倍政権の教育委員会構想
- 5 11:20～12:00 総合討論

【A-4 持続可能な社会の諸相】

コーディネータ：北村 実（21世紀社会論研究委員会）

日時：9月13日（土）午後 15:15～18:00

- 1 15:15～15:20 北村 実：開会挨拶
- 2 15:20～15:50 鶴田満彦：21世紀における経済システムの変革
- 3 15:50～16:20 後藤康夫：冷戦後のグローバル構造と持続可能な世界システム
- 4 16:20～16:50 河野 仁：OECDのBetter life indexから考える社会主義の定義
(休憩10分)
- 5 17:00～17:30 塩谷 光：持続可能な社会の技術のあり方
- 6 17:30～18:00 草野清信：持続可能な社会の建設—CO₂フリー社会、脱原発社会、水素社会—

【B 経済・医療・暮らし】

【B-1 オートメーションと人間・社会】

コーディネータ：河上 茂（東京支部）

日時：9月13日（土）午前 09:00～12:00

- 1 09:00～09:10 河上 茂：分科会の主旨と各報告について
- 2 09:10～09:40 小金澤鋼一：日本の生産システムの現状と自動化
- 3 09:40～10:10 河上 茂：プロセス産業におけるオートメーション(PA)の課題
(休憩15分)
- 4 10:25～10:55 増田 士郎：安定・安全なプラント操業を実現するアラームマネジメント
- 5 10:55～11:25 田中 克範・河上 茂：情報技術による電力供給の変容と課題
- 6 11:25～12:00 総合討論

【B-2 食と農水の政策科学 —震災後の食と農水を考える—】

コーディネータ：西村一郎（食料問題研究委員会）

(都合により中止です)

【B-3 戦後日本経済の根本的な変革 —その根拠と条件を考える—】

コーディネータ：米田 貢（ファンド規制と労働組合研究委員会）

日時：9月14日（日）午前 09:00～12:00

- 1 09:00～09:30 米田 貢：解題
- 2 09:30～10:00 藤田 実：国民経済を重視した産業構造の転換
- 3 10:00～10:30 入谷 貴夫：地域経済学から日本経済の変革を考える
(休憩10分)
- 4 10:40～11:10 吉沢壮二郎：経済の変革とファンド規制 —昭和ゴム事件を題材に—
- 5 11:10～12:30 総合討論

【B-4 新しい出生前遺伝学的検査と生命倫理】

コーディネータ：山崎喜代子（福岡支部）

日時：9月14日（日）午前 09:00～12:15

- 1 09:00～09:30 波多江忠彦：新型出生前診断（無侵襲的出生前遺伝学的検査）の現状と問題点
- 2 09:30～10:00 伊佐 智子：生殖医療の展開といのちの選別 生命操作の隘路
- 3 10:00～10:30 カレン・J・シャフナー：産まれなかった方がよい命はあるのか？—アメリカの優生学から見る—

(休憩10分)

- 4 10:40～11:10 保条成宏：出生前診断と障害ある生命—優生思想の歴史を踏まえて—
- 5 11:10～11:40 宮崎千明：障がい児療育の現場から出生前診断を考える
- 6 11:40～12:15 総合討論

【B-5 食・農・医療と TPP 問題】

コーディネータ：蔦川正義・中野 豊（福岡支部）

日時：9月13日（土） 09:00～12:00

- 1 09:00～09:30 蔦川 正義：解題・TPPの本質と交渉の現段階
- 2 09:30～10:00 平川 一郎：TPPと食・農問題
- 3 10:00～10:30 河内 俊英：地球の砂漠化からTPPと日本の食を考える
- 4 10:30～11:00 岡崎 誠：TPPが暮らしと医療に与える影響

(休憩10分)

- 5 11:10～12:00 総合討論

【C 公害・環境・エネルギー・災害問題】

【C-1 福島第一原発事故の解析と脱原発への道（1）】

コーディネータ：山本富士夫（福井支部）

日時：9月13日（土）午後 15:15～18:00

- 1 15:15～15:45 岡本 良治：3.11 事故の直接的原因は明らかになったのか—地震動と津波の影響評価を巡って—
 - 2 15:45～16:15 山本 雅彦：大飯原発3、4号機運転差し止め訴訟の福井地裁判決について
 - 3 16:15～16:45 山本富士夫：脱原発運動に取り組む科学者の理念と実践
- (休憩10分)
- 4 16:55～17:25 岩本 智之：大飯・高浜原発事故で予想される環境汚染
 - 5 17:25～17:55 佐川 清隆：脱原発と温暖化抑止の電力シナリオと現在での導入実績から今後を考える
 - 6 17:55～18:00 山本富士夫：分科会 C-1(1) のまとめ

【C-1 福島第一原発事故の解析と脱原発への道（2）】

コーディネータ：林 弘文（原子力問題研究委員会）

日時：9月13日（土）午前 09:00～12:00

- 1 09:00～09:30 中西 正之：電力会社の過酷事故対策の合理性・実効性の技術的検証
 - 2 09:30～10:00 青野 雄太：老朽化原発の圧力容器材質と安全性
 - 3 10:00～10:30 舘野 淳：原発再稼働を巡る技術的問題点
- (休憩5分)
- 4 10:35～11:05 清水 修二：福島原子力災害—被害の質と量—
 - 5 11:05～11:35 本間 照光：加害者保護へ向かう原子力損害賠償
 - 6 11:35～12:00 総合討論

【C-2 公害・環境問題の現在】

コーディネータ：北山雅昭（早稲田大学）・畑 明郎

日時：9月13日（土）午後 15:15～18:00

(1) 原発災害—放射能汚染問題の現状を考える

- 1 15:15～15:35 畑 明郎：高島市の放射能汚染木くず不法投棄事件
- 2 15:35～15:55 北川喜久雄：震災瓦礫を燃やしていいのか

- 3 15:55～16:15 畑 明郎：福島第1原発汚染水問題
- 4 16:15～16:35 後藤 隆雄：チェルノブイリ、現実の世界
- (2) 各地域での公害・環境問題の現状
- 5 16:40～17:00 北川喜久雄：カネミ油症事件—診断基準、認定基準を考える—
- 6 17:00～17:20 屋富祖昌子：島から奪われるもの—与那国島での自衛隊基地問題—
- 7 17:20～17:40 北山 雅昭：リニア中央新幹線問題を考える
- 8 17:40～18:00 総合討論

【C-3 瀬戸内の公害・環境問題と地域・環境保全】

コーディネータ：磯部 作（瀬戸内委員会）

日時：9月13日（土）午前 09:00～12:00

- 1 09:00～09:05 磯部 作：コーディネータ解題
- 2 09:05～09:25 後藤 隆雄：瀬戸内海は依然として鉄鋼、火力発電、石油化学等の重工産業の基地群—老化する設備と公害防止対策の遅れを問う—
- 3 09:25～09:45 八記久美子：PCB処理期間延長反対運動から見てきたこと—北九州環境団体連絡会の取り組み
- 4 09:45～10:05 合田 公計：大分県佐伯市大入島埋め立て問題
- 5 10:05～10:25 小淵 港：伊方原発の再開問題
- 6 10:25～10:45 小沢 秀造：上関原発埋立問題 住民運動と中国電力、行政の対応
- 7 10:45～11:15 山本 廣子：和白干潟のラムサール条約登録をめざして—和白干潟の自然と環境保全活動—
- 8 11:15～11:25 塩飽 敏史：瀬戸内の環境を守る連絡会の活動について
(休憩5分)
- 9 11:30～12:00 総合討論

【C-4 市民主導の再生可能エネルギー普及と地域発展】

コーディネータ：上園昌武（島根大学）

日時：9月13日（土）午前 09:00～12:00

コーディネータ：上園昌武（島根大学）

- 1 09:00～09:30 上園 昌武：市民主導の再生可能エネルギー普及の意義と展望
- 2 09:30～10:00 豊田 陽介：市民・地域共同発電所の動向—2013年全国調査報告—
- 3 10:00～10:30 菊山 功嗣：恵那山おひさま発電所の開設と経過
- 4 10:30～11:00 佐藤 高晴：地域におけるエネルギー自立の課題と可能性—東広島市を例にして—

(休憩15分)

- 5 11:15～12:00 総合討論

【C-5 自然エネルギーによる地域づくり —21世紀の地域社会のあり方を探る】

コーディネータ：入谷貴夫（宮崎大学）・阿部博光（別府大学）

日時：9月13日（土）午後 15:15～18:00

- 1 15:15～15:45 豊田陽介：自然エネルギーによる地域エネルギー自立のための諸条件
- 2 15:45～16:15 八木信一：自然エネルギー普及の自治的基盤—長野県飯田市の事例—
- 3 16:15～16:45 入谷貴夫：自然エネルギーによる内発的発展の展望
- 4 16:45～17:15 阿部博光：自然エネルギー開発の多面的機能

(休憩 10分)

5 17:25-18:00 総合討論

【C-6 近年の「異常気象」と気候変動—IPCC 第5次報告と中長期気候目標問題—】

コーディネータ：岩本智之（中長期気候目標研究委員会）

日時：9月14日（日）午前 9:00～12:00

- 1 09:00～09:10 田中 雄三：本分科会開催の趣旨説明
- 2 09:10～09:30 歌川 学：日本における中長期温室効果ガス排出削減シナリオ
- 3 09:30～09:50 明日香壽川：原発は温暖化対策の答えではない—IPCC 第5次評価報告書における原発の位置づけ—
- 4 09:50～10:10 佐川 清隆：気候変動抑止に向けた『私たちの環境サミット』の取り組みと課題

(休憩 10分)

- 5 10:20～10:40 河野 仁：日本における風力発電の現状と課題の全体的解説
- 6 10:40～11:00 岩本 智之：気候変動否定論に関する一考察
- 7 11:00～11:20 左近 拓男：気象・環境教育における高校教科書の意義と今後の期待
- 8 11:20～12:00 総合討論

【C-7 「被災者本位の震災復興論」構築に向けての研究】

コーディネータ：綱島不二雄（地震・津波震災復興研究委員会）

日時：9月13日（土）午前 09:00～12:00

- 1 09:00～09:30 綱島不二雄：被災者本位の復興と創造的復興矛盾と課題—現状をふまえて—
- 2 09:30～10:00 川瀬 憲子：東日本大震災からの復興と自治体財政—石巻市の事例を中心に—
- 3 10:00～10:30 水戸部秀利：被災地の地域医療と東北メディカルメガバンク—被災地の医師の立場から—
- 4 10:30～11:00 山崎 誠：J S A 東日本大震災復興支援協議会の取り組みについて

(休憩 10分)

5 11:10～12:00 総合討論

【C-8 近年の災害激甚化と災害に強い街づくり】

コーディネータ：小林芳正（災害問題研究委員会）

日時：9月13日（土）午前 09:00～12:00

- 1 09:00～09:20 岩本 智之：豪雨災害の激甚化に備える
- 2 09:20～09:40 宇民 正・小林芳正：2013年9月台風18号にともなう宇治川の異常高水位
- 3 09:40～10:00 上野 鉄男：陸前高田の震災復興の概要と問題
- 4 10:00～10:20 磯 望：福岡県西方沖地震災害と警固断層
- 5 10:20～10:40 越智 秀二：広島都市高速道路のトンネル建設による地盤沈下など住宅被害への対応について
- 6 10:40～11:00 坂巻 幸雄：リニア新幹線に「防災・減災」機能はあるか
- 7 11:00～11:20 中山俊雄・川合将文：オリンピック都市改造と防災問題
- 8 11:20～11:40 志岐 常正：災害論から防災論へ—地球科学的検証の重要性
- 9 11:40～12:00 まとめ

【C-9 有明海・諫早湾干拓事業をめぐる問題を考える】

コーディネータ：佐藤正典（鹿児島大学）・堀 良一（福岡支部）

日時：9月14日（日）午前 09:00～12:00

- 1 09:00～09:30 堀 良一：これまでの裁判論争の問題整理
- 2 09:30～10:00 東 幹夫・佐藤慎一：有明海の底生動物の長期定点調査から見えてきたこと
- 3 10:00～10:30 速水祐一・田井 明：有明海における潮汐潮流の長期変化
- 4 10:30～11:00 堤 裕昭：有明海奥部海域の水質および海底環境の変化と諫早湾干拓事業の関係
- 5 11:00～11:30 高橋 徹：調整池のアオコ問題
- 6 11:30～11:45 平方宣清：コメント（有明海の漁場の現状）
- 7 11:45～12:00 総合討論

【C-10 低線量被ばくを考える】

コーディネータ：豊島耕一（福岡支部）

日時：9月14日（日）午前 09:00～12:00

- 1 09:00～09:30 永井 宏幸：被曝労働者の疫学調査について
- 2 09:30～10:00 長山 淳哉：実効線量係数のカラクリと低線量被ばくの影響
- 3 10:00～10:30 小金澤鋼一：低線量被曝論争
(休憩10分)
- 4 10:40～11:20 矢ヶ崎克馬：「真理を探究する科学」とはなりえていないICRP「放射線防護体系」—チェルノブイリ事故後の健康被害を全く予測できなかったICRPの「放射線防護体系」のメカニズムを解剖する—
- 5 11:20～12:00 総合討論

【D 科学・技術・教育・社会】

【D-1 第4回複雑系科学シンポジウム（1）（2）】

コーディネータ：長野八久（複雑系科学研究委員会）

（1）パネルディスカッション「発展・進化の過程の中に転換の法則を探る」

日時：9月13日（土）午前 09:00～12:00

- 1 09:00～11:50 パネルディスカッション「発展・進化の過程の中に転換の法則を探る」
 - 1-1 菅野礼司：自己組織化におけるエネルギー、エントロピーシナジーの役割
 - 1-2 天谷和夫：生命の起源を解明する分子アンヴィル酵素モデルと非平衡熱力学は現代社会の閉塞状況の原因を解明し資本の構造的暴力とその結果である貧困問題の解決に展望を与える
 - 1-3 本庄春雄：いくつかの国の戦後における政権支持率の統計的性質
 - 1-4 嶋田一郎：複雑系社会変革モデルの展開
 - 1-5 コメンテーターの発言
 - 1-6 総合討論（会場からの発言）
- 2 11:50～12:00 ポスター発表プレビュー（希望者）
 - 2-1 白井浩子：ニワトリとタマゴ —生物進化について—
 - 2-2 栗野 宏：言語の単一起源（祖語の存在）への疑問
 - 2-3 嶋田一郎、小山富男：複雑系社会変革モデルの展開（2）—選挙得票率から見た変革勢力の多面的分析—

- 2-4 長野八久：複雑系としての人間社会
- 2-5 橋本榮介：複雑系における人間性について（「過去を最適化する」ことの意味）
- 2-6 長野八久：街に出てサイエンスカフェをやってみよう

(2) 若手研究発表・総合討論

日時：9月13日（土）午後 15:15～18:00

- 1 15:15～15:45 松山裕典：多自由度ハミルトン系のカオス—非線形格子振動系における遅い緩和のダイナミクス—
- 2 15:45～16:15 今村寿子：「押し合いへし合い」からできる形態—動物組織と植物細胞—
- 3 16:15～16:45 丸岡敬和：複雑系が問題としている〈こと〉とは？
(休憩 10分)
- 4 16:55～17:10 西村明生：複雑系における型付け
- 5 17:10～17:25 久恒浩平：くりこみ群の超伝導への応用
- 6 17:25～18:00 総合討論「複雑系科学の課題」

【D-2 女性研究者・技術者の今、そしてこれから】

コーディネータ：沢山美果子（岡山支部）

日時：9月13日（土）午前 09:00～12:00

- 1 09:00～09:50 有田 謙司：（基調報告）労働法制の改変と非正規雇用労働者としての非常勤教員
- 2 09:50～10:15 長谷川千春：若手女性研究者の葛藤—研究と就職とライフコース選択
- 3 10:15～10:40 野依 智子：女性研究者支援の現状と課題
- 4 10:40～11:05 山縣ゆり子：大学における女性研究者支援
(休憩 10分)
- 5 11:15～12:00 総合討論

【D-3 環境とジェンダー】

コーディネータ：粟屋かよ子（元四日市大学）

日時：9月13日（土）午後 15:15～18:00

- 1 15:15～15:20 粟屋かよ子：趣旨説明
- 2 15:20～15:40 伊藤 章夫：統計から見る環境とジェンダー
- 3 15:40～16:00 粟屋かよ子：持続可能な社会への取組とジェンダー—モンゴルにおける経験の紹介を中心に—
- 4 16:00～16:20 河口 尚子：脱原発運動・環境運動と「障害・障害者」の言説について—ジェンダーの視点から—
- 5 16:20～16:40 鬼頭 孝佳：日本エコフェミニズム論争の課題と展望
- 6 16:40～17:00 村上 哲生：女性と環境問題の関連についての再検討
- 7 17:00～17:20 高畑 祐人：環境倫理としてのエコフェミニズムの可能性
(休憩 10分)
- 8 17:30～18:00 総合討論

【D-4 若手研究者を取り巻く環境】

コーディネータ：柴田 努（岐阜支部）

日時：9月13日（土）午後 15:15～18:00

- 1 15:15～15:45 柴田和宏・吉沢壮二郎：大学院生、若手研究者の研究環境と JSA 活動の意義

- 2 15:45～16:15 朝日今日子：関西における若手研究者の活動について
- 3 16:15～16:45 加賀美太記：JSA の若手活動の歴史と課題
(休憩 15 分)
- 4 17:00～17:50 フロアとの討論
- 5 17:50～18:00 まとめ

【D-5 科学者の権利問題】

コーディネータ：丹生淳郷（科学者の権利問題委員会）

日時：9月14日（日）午前 09:00～12:00

- 1 09:00～09:30 湯浅 精二：大学・研究機関のブラック化と権利問題—われわれの取り組み—
- 2 09:30～10:00 野中 郁江：研究発表の自由とスラップ訴訟
- 3 10:00～10:30 上野 輝政：彦根市史問題—「学問の自由」を中心に—
(休憩 10 分)
- 4 10:40～11:10 佐々木二郎：医薬品の臨床研究に関する不正事案
- 5 11:10～11:40 竹森 信：競争の質について—特に科学者・研究者・技術者の権利・倫理の観点から—
- 6 11:40～12:00 総合討論

【D-6 高等教育・学術研究体制の惨状と解決の展望】

コーディネータ：青山政利、小滝豊美、齋藤安史（大学問題委員会）

日時：9月13日（土）午後 15:15～18:00

- 1 15:15～15:40 松田 正久：文部行政が目指しているもの
- 2 15:40～16:05 齋藤 安史：人材（財）育成に特化する教育政策
- 3 16:05～16:30 佐久間英俊：日本における私立大学の現状と問題解決の方向性
(休憩 10 分)
- 4 16:40～17:05 小滝 豊美：成長戦略に組み込まれる「国立研究開発法人」
- 5 17:05～17:30 細井 克彦：大学自治とガバナンス
- 6 17:30～18:00 総合討論

【D-7 真の科学・技術政策を求めて —学術研究体制を望ましいものへと構築するのか、悲惨な事態に追い込むのか—】

コーディネータ：兵藤友博（科学・技術政策委員会）

日時：9月14日（日）午前 9:00～12:00

- 1 09:00～09:30 兵藤友博：再び、科学・技術政策策定の分水嶺を考える—第4期科学技術基本計画、科学技術イノベーション総合戦略を中心に
- 2 09:30～10:00 野村康秀：本格稼働する「科学技術イノベーション政策」の検証
- 3 10:00～10:30 井原 聡：学術研究体制の変貌過程と日本学術会議、文科省、総合科学技術会議
- 4 10:30～11:00 齋藤安史：21世紀の学術体制の変貌—研究開発法人と大学法人—
(休憩 10 分)
- 5 11:10～12:00 総合討論

【D-8 科学・技術の現状批判 —日本の科学・技術の健全な発展のための課題 Part 7—】

コーディネータ：長田好弘（東京支部）、久志本俊弘（大阪支部）、酒井士朗（東京支部）

日時：9月13日（土）午前 9:00～12:00

- 1 09:00-09:30 栗野 宏：「原子」概念の二義性と「原子力」の誕生
- 2 09:30-10:00 山本 謙治：住民と科学者・技術者の連携を考えるー研究用原子炉設置撤回の運動の歴史からー
- 3 10:00-10:30 長田 好弘：科学・技術の巨大化と国民生活
(休息 10 分)
- 4 10:40-11:20 久志本俊弘：企業の中の研究開発の最近の現場の特徴・問題点と解決の方向性
- 5 11:20-11:50 矢作 英夫：「通信の秘密」を侵害する通信傍受法の改悪

【D-9 科学・技術サロンー日本の科学・技術の現状とロマンを語る Part 7ー】

コーディネータ：長田好弘、小金澤鋼一、松永光司（東京支部科学委員会）

日時：9月13日（土）午後 15:15~18:00

- 1 15:15~15:45 長田好弘：リニア中央新幹線問題ー科学の総合化の取り組みー
- 2 15:45~16:15 上野 哲：日本の研究者倫理教育の課題と展望
- 3 16:15~16:40 増澤誠一：持続可能な社会と特許ー変わる特許事情ー
(休憩 15 分)
- 4 16:55~17:25 中野貞彦：原発事故後 3 年間の放射線量測定値と一致する予測値
- 5 17:25~17:55 松永光司：大学・研究機関の軍事研究への動員と研究者の社会的責任

【ポスターセッション】

- ・ ポスター発表（自由演題）申込の締切日を7月末まで延期します。
- ・ 20 総学の目的の一つに、各支部参加と活動の交流があります。したがって、「ポスターセッション」は、支部、地区、委員会、会員のさまざまな「交流の場」と考えます。各支部の創立、伝統、現在の活動の紹介などを歓迎します。各支部が活動する学園、地域の学問・研究・教育活動、自治体の政治情勢と支部独自の活動、他団体との共同活動の紹介を歓迎します。47 都道府県のすべての支部から、支部活動の紹介やお国自慢を含めたポスターが集まることを期待します。
- ・ ポスターのサイズは A0 用紙縦置き（横 84.1cm× 縦 118.9cm）内のサイズに収まる様に準備ください。
- ・ 掲示は 12 日（金）13：00 から 14 日（日）12：00 までです。
- ・ 13 日（土）12：00~13：30 はポスターディスカッションの時間としますので、発表者はポスターの前にお立ちくださり、参加者との闊達な議論を深めて下さい。なお、分科会での発表も兼ねておられる方で、この時間帯に発表を予定されている方は可能な範囲で構いません。
- ・ ポスターセッションを申し込まれる方は、申請者氏名・連絡先（住所、電話・FAX、E-mail）・題名・掲示板枚数（1 枚あたり A0 サイズ）を電子メール本文中に記入し、下記の電子メールアドレスまでお送りください。申込用紙のテンプレート（Word 形式）は下記のホームページからダウンロードできます。
- ・ ポスターセッション申込先：日本科学者会議第 20 回総合学術研究集会実行委員会
メールアドレス：sogaku@jsa-fukuoka.sakura.ne.jp
- ・ 申込用紙テンプレート：http://jsa-20th-sogaku.net/
ポスター発表の申込の締切日：7月31日（日）

5. エクスカーション

エクスカーションの申込は、それぞれ、下記の各担当者までメールで申し込んでください。
エクスカーション申込の締切は、8月18日（月）です。

1. 山本作兵衛作品見学ツアー

世界記憶遺産に登録された炭坑記録画等を所蔵する「田川市石炭・歴史博物館」を紹介し
ます。また、筑豊の石炭王・伊藤伝右衛門と柳原白蓮の旧伊藤伝右衛門邸を予定しています。

訪問先：田川市石炭・歴史博物館と飯塚・旧伊藤伝右衛門邸

日 時：9月14日 13時から19時

集 合：西南学院大学、解散は博多駅・福岡空港を予定

参加費：4,000円

定 員：40名（最小催行人数15名）

担当者：蔦川正義、河内俊英

メール：skawachi@lup.bbiq.jp

2. 有明海と諫早湾干拓見学ツアー

昨年の12月に諫早湾干拓の潮受け堤防が開くはずでした。是非、干拓地と調整池の現状
を見にきてください。ツアーでは、潮受け堤防上の道路を通り、中央付近で排水の、堤防東
端では堤防の現状を、また干拓農地も見学する予定です。有明海の干拓事業は、ここでの大
きな干満の差を抜きにしては理解できません。干拓地に近い竹崎で有明海のワタリガニの昼
食ののち、有明海に沿って北上し、鹿島で干潟公園を見学します。はるか遠方まで広がる干
潟とムツゴロウが見られるはずです。是非ご参加ください。

訪問先：諫早湾干拓地、鹿島干潟公園

日 時：9月15日 9時から16時

集 合：福岡・天神 日本銀行福岡支店前（福岡市中央区天神4-2-1）8時50分に集合

参加費：6,000円（バス代と昼食代込み）

定 員：45名（最小催行人数20名）

担当者：半田 駿

メール：handas@cc.saga-u.ac.jp

3. 玄海原発と呼子港見学ツアー

玄海町には、川内1、2号機とともに、九州電力が再稼働をめざしている玄海3、4号機
があります。その玄海町と玄海原発および玄海エネルギーパークを見学し、時間があれば近
くの名護屋城跡（名護屋城：秀吉が朝鮮出兵ための前線基地として築城）を訪れて、呼子港
の料亭でイカの活き造り（剣先イカ）を昼食で楽しむ予定にしています。

訪問先：玄海原発、玄海エネルギーパーク、名護屋城跡、呼子港

日 時：9月15日 8時から16時

集 合：福岡・天神 日本銀行福岡支店前（福岡市中央区天神4-2-1）7時50分に集合

参加費：6,000円（バス代と昼食代込み）

定 員：45名（最小催行人数20名）

担当者：三好永作

案 内：坂本 洋（玄海原発対策住民会議会長）

メール：eisaku.miyoshi@kyudai.jp

6. 会場案内

西南学院大学（中央キャンパス 1, 2号館）

住所：〒814-8511 福岡市早良区西新 6-2-92

福岡空港や博多駅からは、姪浜方面あるいは唐津方面行きの地下鉄に乗り、西新（にしじん）駅で下車し1番出口から地上に上がり、出たすぐの信号を渡って右に曲がれば、「サザエさん通り」。その「サザエさん通り」を徒歩3分で西南学院大学の正門に到着します（自家用車での来場はご遠慮ください）。



【保育室の設置】

保育室を希望される方は、7月31日までに実行委員会(sogaku@jsa-fukuoka.sakura.ne.jp)へご相談ください。希望状況に応じた保育室の設置を検討します。

【JSA 若手「夏の学校」2014 in 福岡のお知らせ】

今年度も「夏の学校」2014を、第20回総合学術研究集会と併催し開催いたします。今年度のテーマは「炭鉱と強制労働—右傾化する日本を見直すために—」としました。日本における炭鉱労働と民族差別が経済や政策との関連でいかに作り出されてきたのかということ学びます。院生独自の企画として、①各地の取り組みや研究生活、論文執筆についての活動紹介や交流会、②九州の炭鉱労働をめぐる問題についての学習会と田川市石炭・歴史博物館と周辺へのFWを予定しています。

- ◆日時：2014年9月13日(土)－15日(月・祝) ◆開催地：福岡 西南学院大学 ◆宿泊先：平和台ホテル5 ◆参加費：18,000円(予定) 総学参加費込/現地までの交通費別
- ◆参加申し込み：下記の必要事項①～⑤を記入の上、8月24日(日)までにEメールでお申し込みください。【必要事項】①氏名(フリガナ)、②所属・学年、③専門・研究分野、④連絡先(TEL・E-Mail)、⑤参加期間(全日 or 15日昼のみetc)
- ◆問い合わせ先：summer_school_2014@freeml.com (夏の学校2014 実行委員会)

【今後の主な予定】

- ・ 第4回実行委員会： 2014年7月27日(日)
- ・ ポスター発表申込期限： 2014年7月31日(木)
- ・ 4th Circular 発送： 2014年8月11日(月)
- ・ 参加事前登録締切： 2014年8月18日(月)
- ・ エクスカーション申込締切： 2014年8月18日(月)
- ・ 20 総学開会： 2014年9月12日(金)

【日本科学者会議第20回総合学術研究集会実行委員会(2014年7月1日現在)】

- 実行委員長： 三好永作(福岡支部、全国常幹、支部幹事)
- 副実行委員長： 酒井嘉子(福岡支部)、村上陽三(福岡支部、JSA全国参与)
西垣 敏(福岡支部、支部幹事)、蔦川正義(福岡支部)
- 事務局長： 本庄春雄(福岡支部、九州大学)
- 事務局長次長： 伊藤宏之(全国事務局、全国常幹)、小畑隆資(岡山支部、全国常幹)
小早川義尚(福岡支部、支部事務局長)、中野豊(福岡支部、支部幹事)
- 事務局員： 福岡支部・および近隣の支部(佐賀等)の実行委員会メンバー
- 実行委員： 山崎喜代子(福岡支部、西南学院大学)、出口博之(福岡支部、九州工業大学)
青野雄太(福岡支部、支部幹事、久留米高専)、岡本良治(福岡支部)
河内俊英(福岡支部、支部幹事)、半田駿(佐賀支部、支部事務局長)
吉田省三(長崎支部事務局長、長崎大学)、戸田清(長崎支部、長崎大学)
藤井美保(熊本支部事務局長、熊本大学)、岩永定(熊本支部、熊本大学)
山城千秋(熊本支部、熊本大学)、高山英男(大分支部、全国常幹)
木下統(宮崎支部事務局長、宮崎大学)、平野公孝(宮崎支部、支部幹事)
小栗実(鹿児島支部、鹿児島大学)、屋富祖建樹(沖縄支部、支部事務局長)
亀山統一(沖縄支部、全国常幹)、田島康弘(鹿児島支部、全国常幹)

日本科学者会議第20回総合学術研究集会実行委員会
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9階
TEL:(03)3812-1472 Fax:(03)3813-2363
20 総学ホームページ： <http://jsa-20th-sogaku.net/>
E-mail: sogaku@jsa-fukuoka.sakura.ne.jp